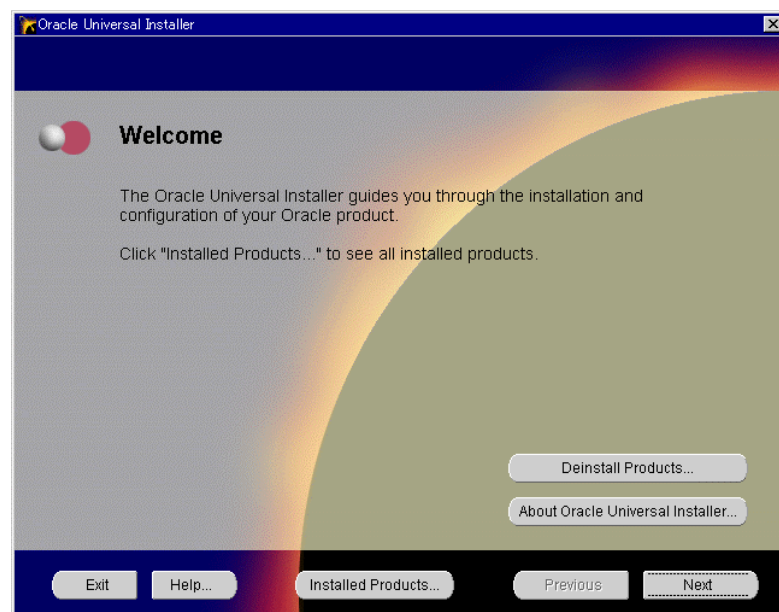


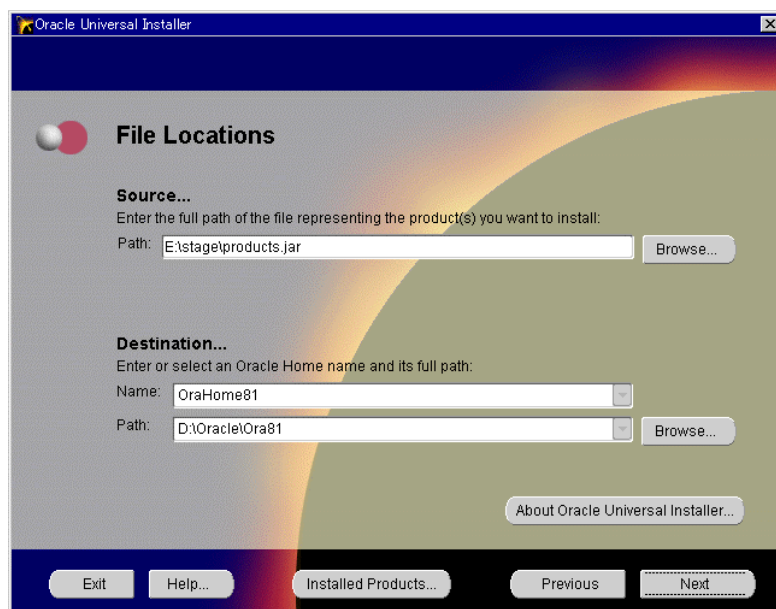
Oracle8i (8.1.5.0.0)のインストール方法

PDS のデータベースサーバとして利用できるように Oracle8i (8.1.5.0.0)をインストールする方法を説明します。

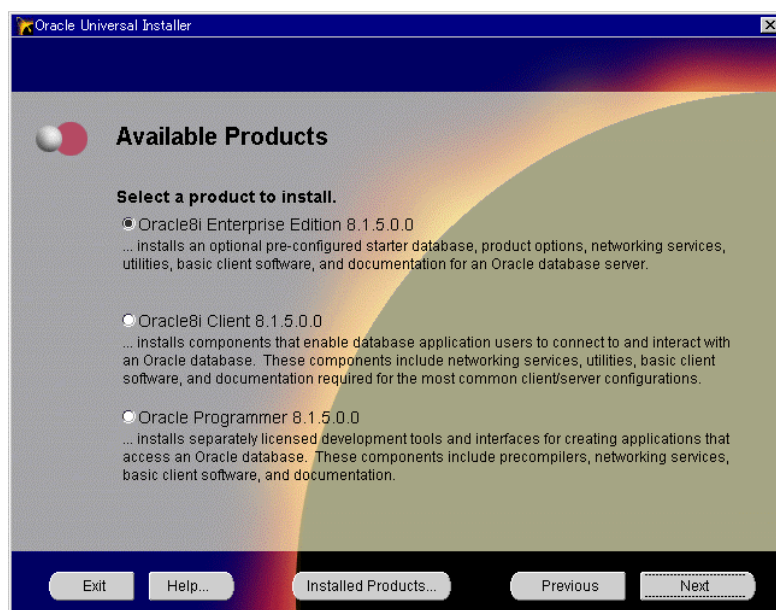
- 1) インストールするマシンの OS が日本語版 Windows NT 4.0 の場合、コントロールパネルの **地域**で、地域情報として“**英語 (U.S.)**”を選択しておきます(“**システムの標準の地域情報として設定**”オプションを選択する必要はありません)。
- 2) CD-ROM ドライブに、Oracle8i (Enterprise Edition/Workgroup Server)の CD-ROM を挿入します。以下のように Oracle Universal Installer が起動されます(自動再生が行われない場合には、Setup.exe を起動します)。パッケージの種類(英語版/日本語)等により、異なる画面が表示されるものもあります。その場合には、Install 等の項目を選択します。**Next** ボタンを選択します。



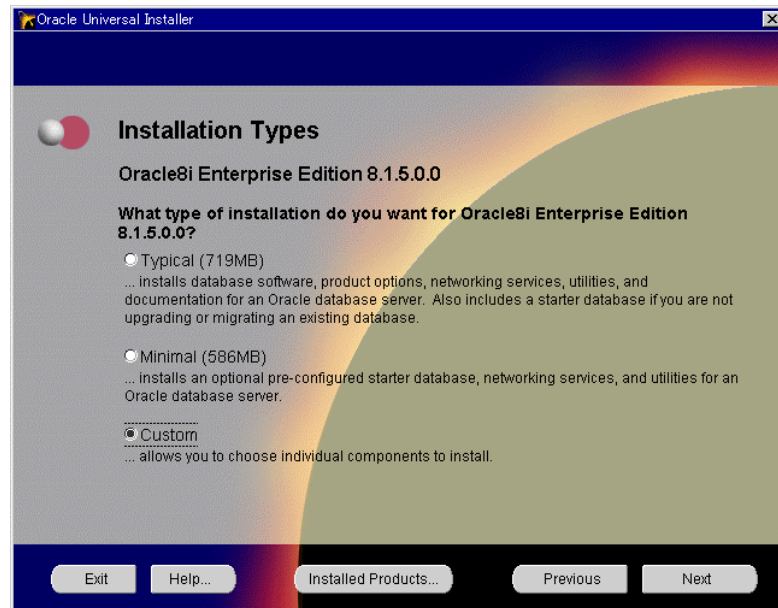
- 3) 以下のような画面が表示されます。インストール先として、**Destination...の Path:**に対してインストール先のパス名を入力します。なお、データベース(SID)作成の際のデフォルト設定では、このパス以下にデータベースファイルが作成されます。**Next** ボタンを選択します。



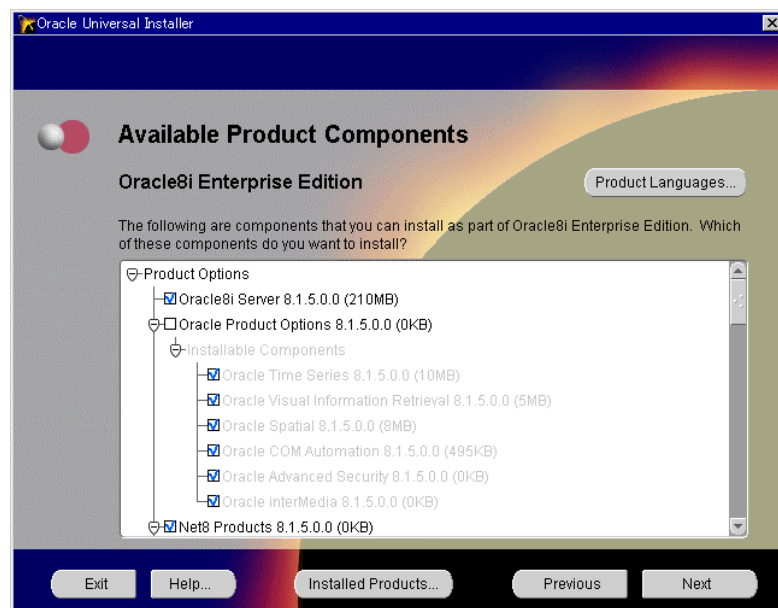
- 4) 以下のような画面が表示されます。データベースサーバとして利用するマシンに対してインストールを行う場合には、**Oracle8i Enterprise Edition (Workgroup Server) 8.1.5.0.0** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



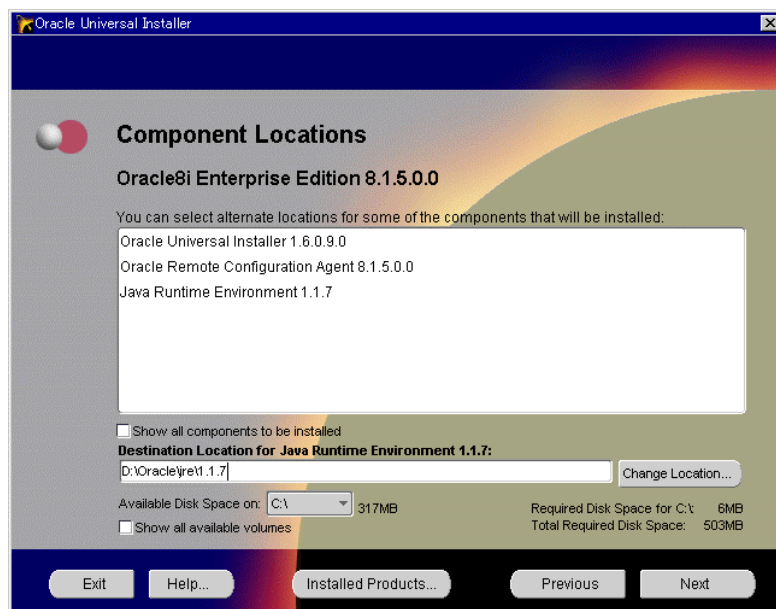
- 5) 以下のような画面が表示されます。**Custom** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



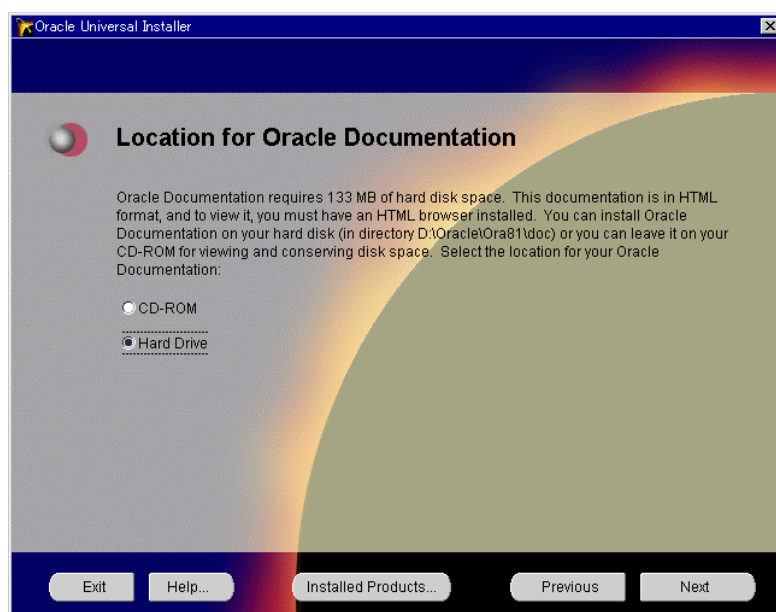
- 6) 以下のような画面が表示されます。インストールを行う製品を選択し、**Next** ボタンを選択します。通常、PDS のデータベースサーバとして利用する場合には、**Oracle Product Options**、**Oracle Java Products** 等をインストールする必要はありません。なお、PDS 6.4.1 の Material Data Publisher 機能を使用する場合には、**Net8 Products** をインストールする必要があります。



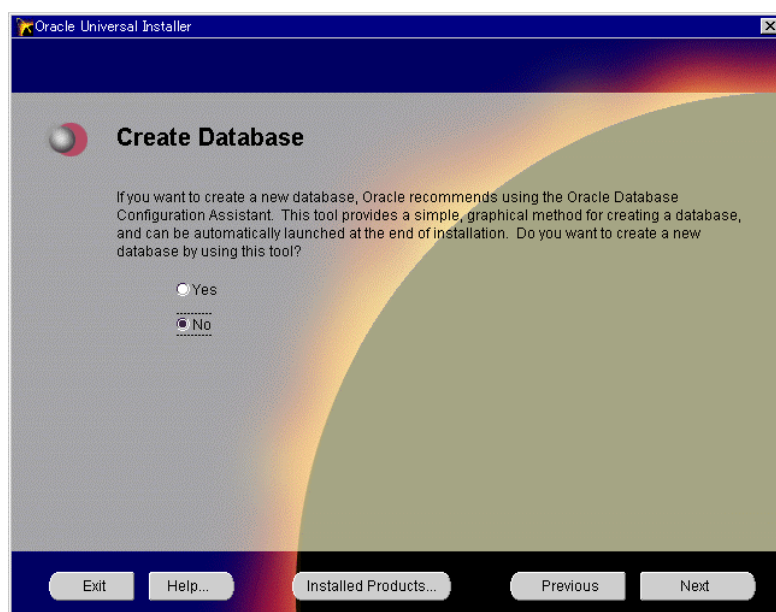
- 7) インストール先を変更できる製品がリストに表示されます。**Java Runtime Environment** のインストールを行う場合は、インストール先パス名に空白文字が含まれないように、C:\Program Files\Oracle\jre\1.1.7 から D:\Oracle\jre\1.1.7 等へ変更します。**Next** ボタンを選択します。



- 8) Oracle Documentation のインストールを行う場合は、以下のような画面が表示されます。ファイルを格納しておく場所として、**CD-ROM** または **Hard Drive** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



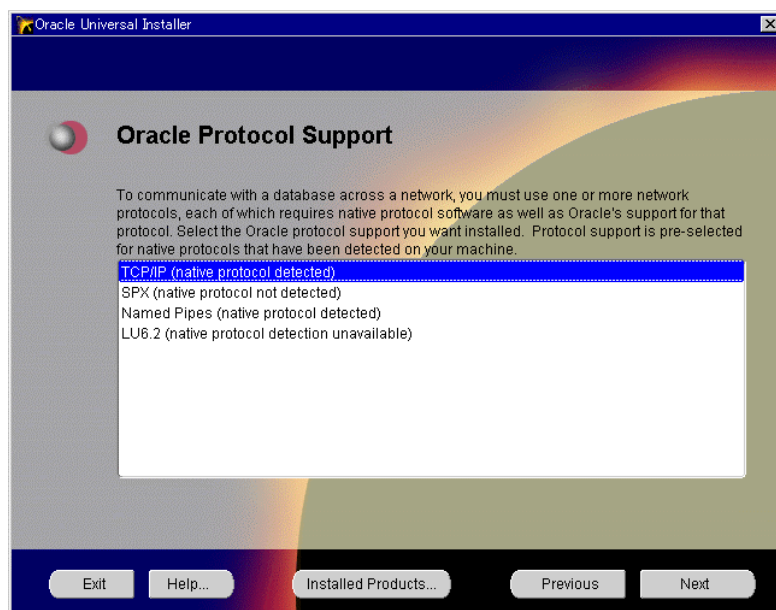
- 9) 以下のような画面が表示されます。インストール終了後、続けてデータベース(SID)の作成を行う場合は **Yes**、データベースを作成しない場合は **No** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



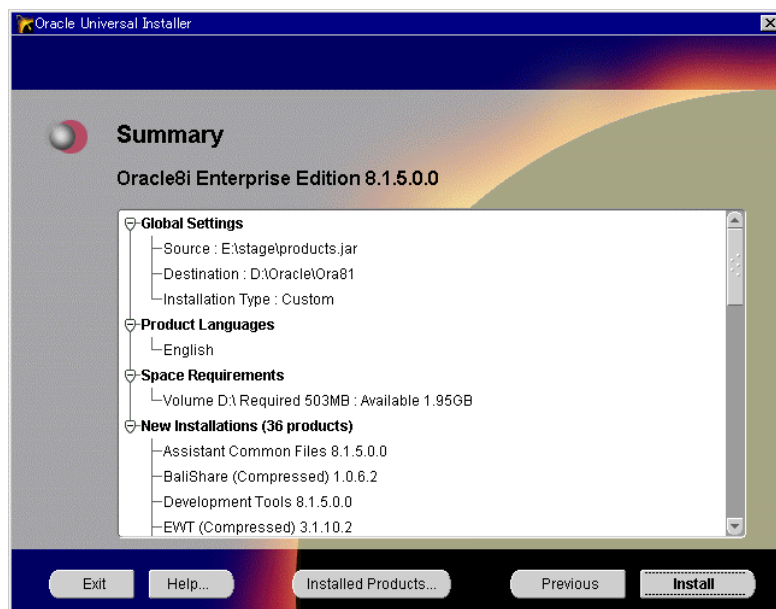
- 10) 以下のような画面が表示されます。 **No** を選択し、 **Next** ボタンを選択します。



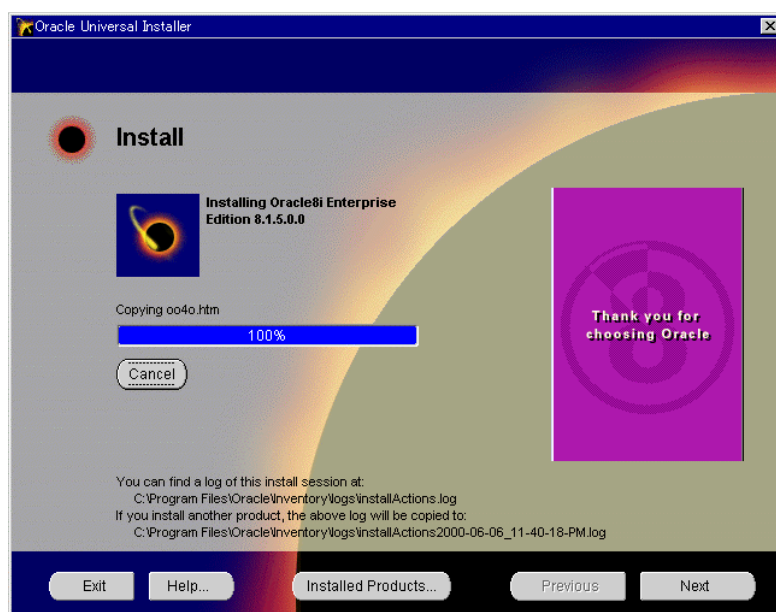
- 11) **Net8 Products** のインストールを行う場合は、以下のような画面が表示されます。Net8 での通信に使用するプロトコルを選択し、**Next** ボタンを選択します。



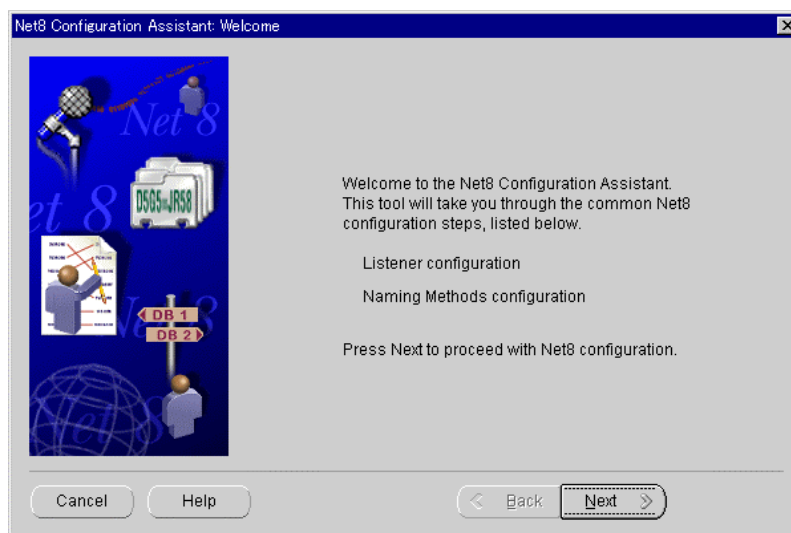
- 12) 以下のような画面が表示されます。インストールの設定を確認し、**Install** ボタンを選択します。インストールが開始されます。



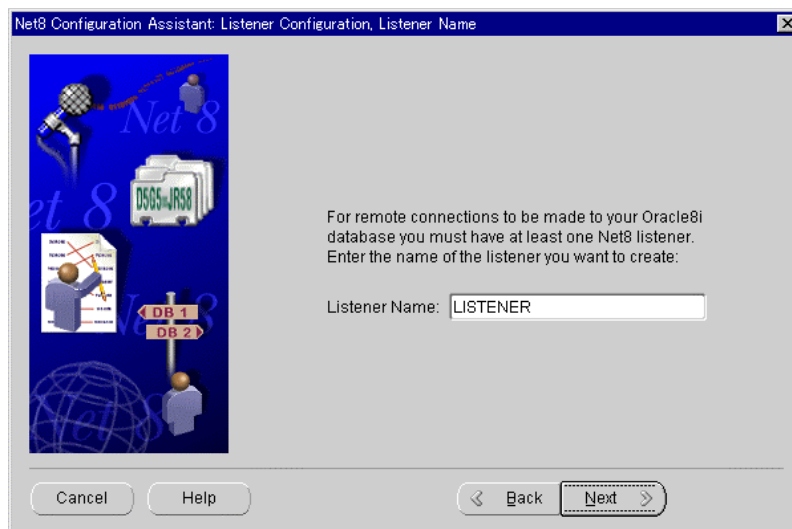
- 13) インストールが終了すると、以下のような画面が表示されます。**Next** ボタンを選択します (Net8 Products のインストールを行っていない場合は、**Exit** ボタンを選択して終了します)。



- 14) Net8 Configuration Assistant が起動されます。**Next** ボタンを選択します。



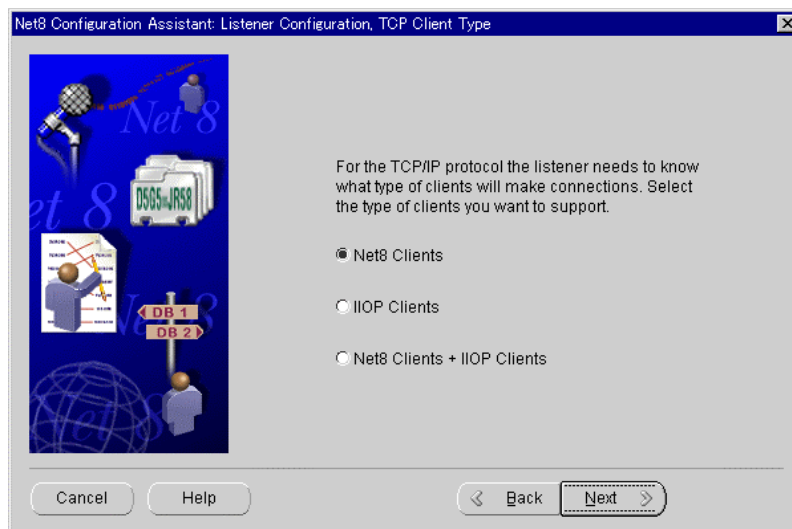
- 15) 作成する Net8 Listener のリスナー名を入力し、**Next** ボタンを選択します。



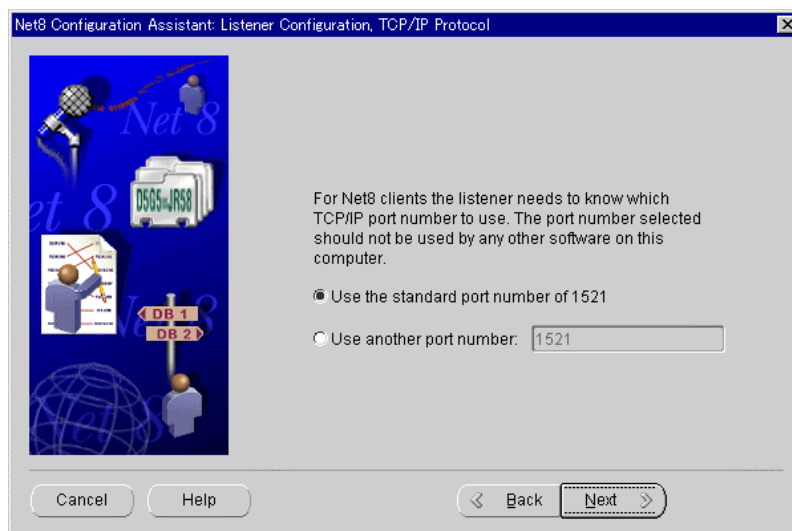
- 16) リスナーで使用するプロトコルを選択し、**Next** ボタンを選択します。



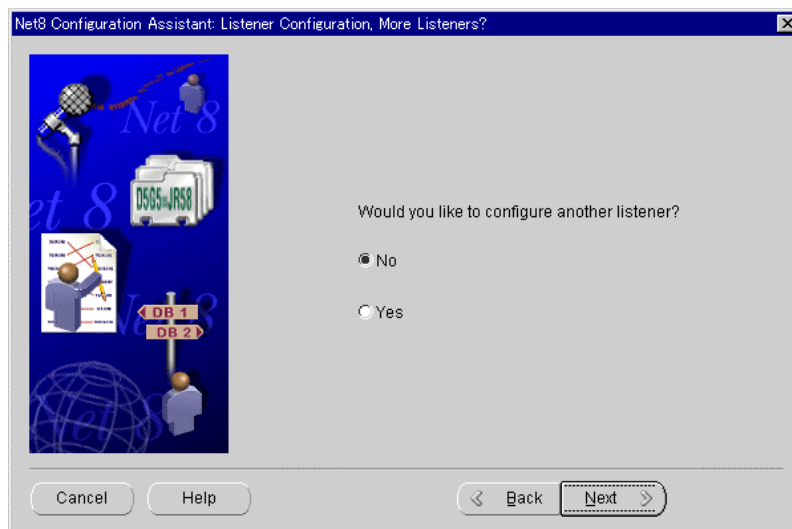
17) 接続するクライアントのタイプを選択し、**Next** ボタンを選択します。



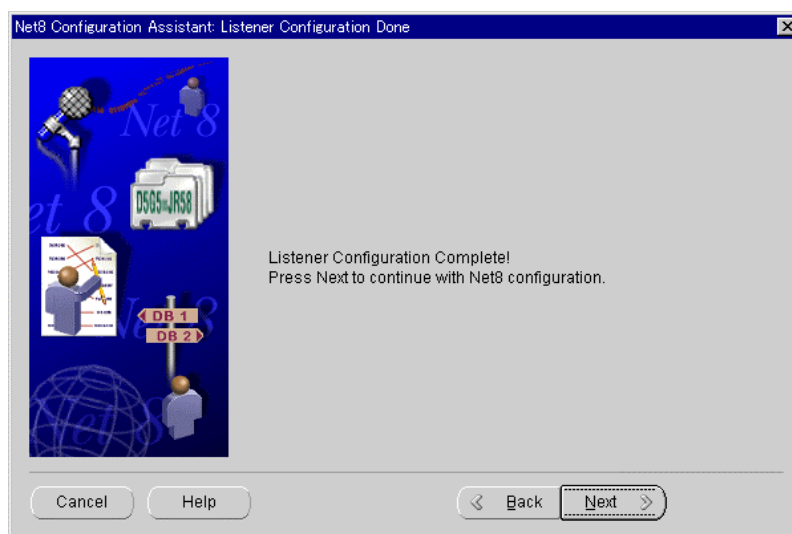
18) TCP/IP プロトコルで使用するポート番号を指定します。通常は、標準の **1521** を使用します。
Next ボタンを選択します。



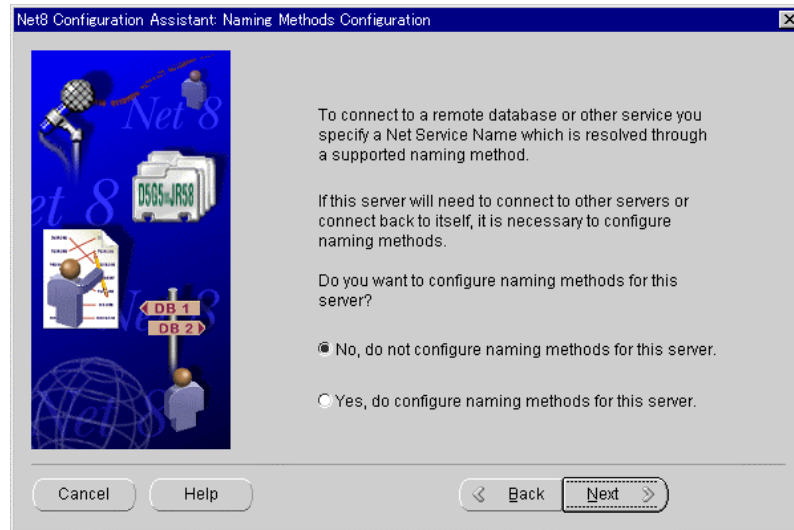
19) 他のリスナーの設定を行わない場合は **No** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



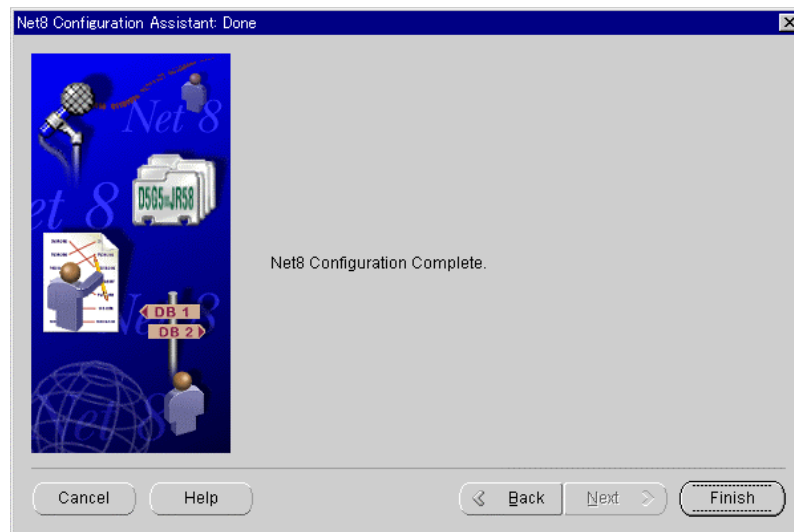
20) 以下のような画面が表示されます。**Next** ボタンを選択します。



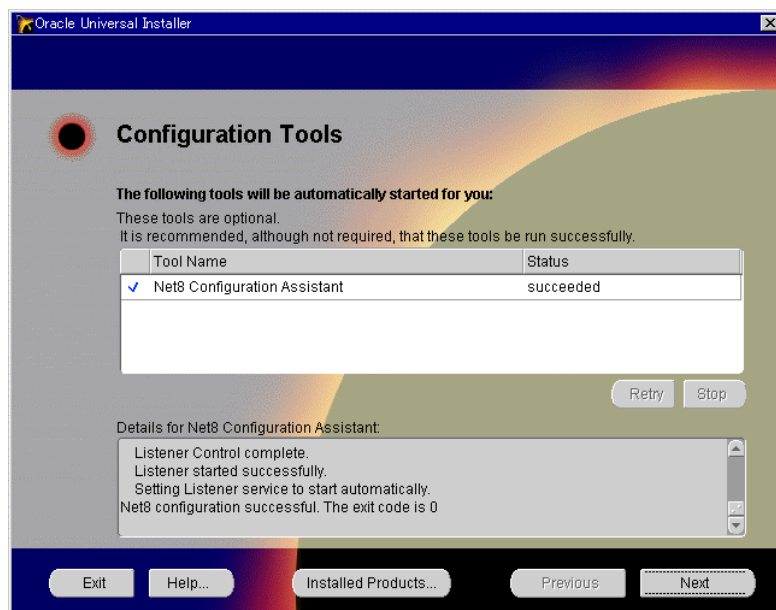
21) ネーミングメソッドの設定を行わない場合は **No** を選択し、**Next** ボタンを選択します。



22) 以下のような画面が表示されます。**Finish** ボタンを選択します。



23) 以下のような画面が表示されます。 **Next** ボタンを選択します。



24) 以下のような画面が表示されます。他の製品を追加してインストールを行う場合は、**Next Install** ボタンを選択します。終了する場合は、**Exit** ボタンを選択します。

